生ビール中ジョッキ1杯分のアルコールを分解するのに約4時間必要です。
（女性は約5時間）
2杯なら約8時間、3杯なら約12時間はアルコールが残っている可能性があります。

アルコールの分解に必要な時間の目安

ビールであれば	焼酎であれば	チューハイであれば	ワインであれば
500mL 1杯	水割り(5:5) 1杯	350mL 1本	200mL 1杯

いずれかを飲めば

4時間以上
（女性は5時間以上）

※体調や体質によっては、さらに時間がかかります。

【よくある事例】
あなた（男性）は、宴会で、生ビール中ジョッキを3杯飲み、午後9時に飲み会が終わったので帰宅後、就寝しました。
翌朝午前7時。アルコールは残っていないだろうと思い、出勤するために、車を運転したところ、飲酒運転で検挙されてしまいました。

【飲酒する際は計算しましょう】
生ビール1杯分のアルコール処理に要する時間は約4時間
生ビール1杯約4時間×3杯＝約12時間
約12時間後の午前9時までは身体にアルコールが残っている計算になるので、午前7時の運転は飲酒運転になる可能性が高くなります。

飲んだ翌日は公共交通機関の利用を!!

福岡県警察